

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進	施策の目的	学校教育を充実し、次世代を育てる	施策	学校教育
--------------	--------------	--------------	------------------	-----------	------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
学校教育内容の充実	外国語対応事業	指導課
健全な児童生徒の育成	適応指導教室の運営	指導課
学校教育環境の整備	小中学校施設の維持管理	学校教育課
学校給食の充実	学校給食センターの運営	学校給食センター

目標

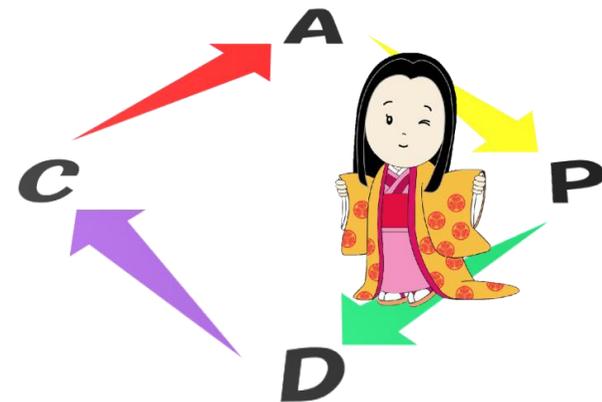
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
学校教育に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	28.1%	33.1%

令和2年度の実行状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

教育環境を充実させることは人口増加にもつながるものと考えられ、積極的に投資すべきである。しかしながら、学校施設の在り方は抜本的に見直し、効率化を図る必要がある。教員の働き方改革は大いに推進していただきたい。特に、中学校の部活動指導にはメスを入れるべきであろう。オンライン環境が普及したことによる児童生徒の学力や身体、精神面への影響については、十分に注意を払っていただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	外国語対応事業			
担当	指導課			
予算科目	一般会計			
	10款	1項	3目	4事業
事業の目的	外国籍園児児童生徒等の教育環境の充実と学習意欲の向上。市内小中学校の児童生徒の日本語力、英語力の向上。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	学校教育を充実し、次世代を育てる
施策	学校教育
施策の方向	学校教育内容の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	45,905千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		%
実施内容と改善点		
外国人児童生徒支援員8名の配置（ポルトガル語5名、タガログ語3名）。ALT講師11名の派遣（小学校6名、中学校5名を計画配置。幼稚園に月1回訪問）ALTはR3～R5の長期契約で講師を確保。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	外国人児童生徒支援員8名を配置し、言語支援や保護者対応業務を行った。ALT講師はコロナ禍の影響で一部配置日が遅れたが、夏期の授業日の追加分に振り替える調整を行った。
分析	1人の外国人児童生徒支援員が対応する人数や文書翻訳の量が多く、現場のニーズへの対応は不十分である。ALT講師の中学校の授業カバー率は60%以下となっている。中学校の英語学習支援を充実させる必要がある。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--

令和2年度	決算額	43,683千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		37.7 %
当初の成果目標		40.0 %
実施内容と改善点		
外国人児童生徒支援員8名の配置。ポルトガル語対応5名、タガログ語対応3名（おひさま幼稚園1名、3小学校に5名、2中学校2名）ALT講師11名の派遣（小学校6名、中学校5名）公立幼稚園に中学校担当講師が月1回訪問。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

成果指標	
中学校3年生の内、CEFRA1（英検3級相当）以上の英語力を有するまたは有すると思われる割合	
単位	%

NEXT CYCLE

令和元年度	決算額	43,863千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		30.0 %
当初の成果目標		40.0 %

事業の説明

事業名	適応指導教室の運営			
担当	指導課			
予算科目	一般会計			
	10款	1項	3目	1事業
事業の目的	学校生活に適応できず、不登校傾向の児童生徒に対して、将来的な引きこもりを予防するため、主体的なキャリア形成に向けた自立支援の手立てを図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	学校教育を充実し、次世代を育てる
施策	学校教育
施策の方向	健全な児童生徒の育成

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	7,868千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		60.0 %
実施内容と改善点		
不登校児童生徒や保護者に対して教育相談を行い、心の安定を図る。実態に応じた学習支援や社会体験を通じて、集団適応力や学習意欲、生活習慣の習得を促す。指導員やSCを増員し、より丁寧な支援体制を構築する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	教育相談員1名、教育指導員4名、スクールカウンセラー3名配置し不登校傾向の児童生徒の学習支援や自立活動、教育相談等を行った。また、保護者の相談件数も多く丁寧な対応を図った。
分析	不登校児童生徒の登校状況に改善が見られた。また中学校3年生においては、進路決定につながるなど、自立支援に効果が見られた。電話相談や来室相談も多く、児童生徒、保護者のニーズも高い。カウンセラーや指導員の人員確保が難しいことが課題として挙げられる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

成果指標	
適応指導教室に通室している児童生徒数に対する改善の見られた児童生徒数の割合	
教育相談・学習支援・学校との連携を図っていくことで、児童生徒の出席日数(通室日・学校への登校日)の改善を目指す。	
単位	%

NEXT CYCLE

令和元年度	決算額	6,264千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		36.0 %
当初の成果目標		60.0 %

令和2年度	決算額	5,554千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		33.0 %
当初の成果目標		60.0 %
実施内容と改善点		
通室人数は15名(小:5人,中:10人)で、入室相談や学校職員との面談等、対応件数は年間1741件。令和2年度通室の中学校3年生は、高校に進学することができた。学校に登校(部分登校や、放課後登校も含む)できるようになった児童生徒が5人。(小学生2人,中学生3人)		

事業の説明

事業名	小中学校施設の維持管理			
担当	学校教育課			
予算科目	一般会計			
	10款	2・3項	1目	2事業
事業の目的	学校施設を適正に維持管理していくことで、児童・生徒及び教職員等が安心して生活できる良好な教育環境を提供する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	学校教育を充実し、次世代を育てる
施策	学校教育
施策の方向	学校教育環境の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	84,823千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		19校
実施内容と改善点		
学校施設の19校の内、16校は老朽化による経年劣化が進んでいる。適正配置計画や長寿命化計画に基づく大規模改修工事や日常生活における不具合の改修を実施し、安全安心な教育環境を確保する。		

令和2年度	決算額	48,981千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		19校
当初の成果目標		19校
実施内容と改善点		
学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であり教育を支える基本的施設となっていることから、学校からの営繕要望による施設の修繕や点検業者からの報告書等により、設備を適切に整備、維持管理し、安全でいきいきと学べる教育環境の整備に努めた。令和2年度は242件の修繕や各種点検、樹木の管理などを実施した。		

令和元年度	決算額	60,795千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		19校
当初の成果目標		19校

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	大部分の学校施設は、概ね令和2年度の計画どおりに修繕を実施できた。
分析	プール施設については、すべての施設で老朽化が進んでおり、膨大な修繕料を要する突発的な不具合が毎年発生している。限られた予算の中での修繕は困難であること、季節限定の授業であることを鑑み、19校中3校（平成22年度から菅生小及び水海道西中。令和2年度から大花羽小）については、近隣施設での合同使用を実施している。

【Action】今後に向けた改善点

方針	

成果指標	
適切な対応により学校運営に支障が発生しなかった校数	
単位	校

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		校
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
校		校

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	学校給食センターの運営			
担当	学校給食センター			
予算科目	一般会計			
	10款	6項	3・4目	2事業
事業の目的	安全安心でおいしい学校給食を継続して提供し、健康増進、望ましい食習慣を養うこと、学校生活を豊かにすること、食文化についての理解を深めることを目的とする。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	学校教育を充実し、次世代を育てる
施策	学校教育
施策の方向	学校給食の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	559,601千円
	うち 特定財源	303,484千円
成果目標		199 回
実施内容と改善点		
昨年度に引き続きコロナ禍での給食提供となるため、「学校給食対応マニュアル」に沿った衛生管理を各学校に周知し、安全安心な給食を提供する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

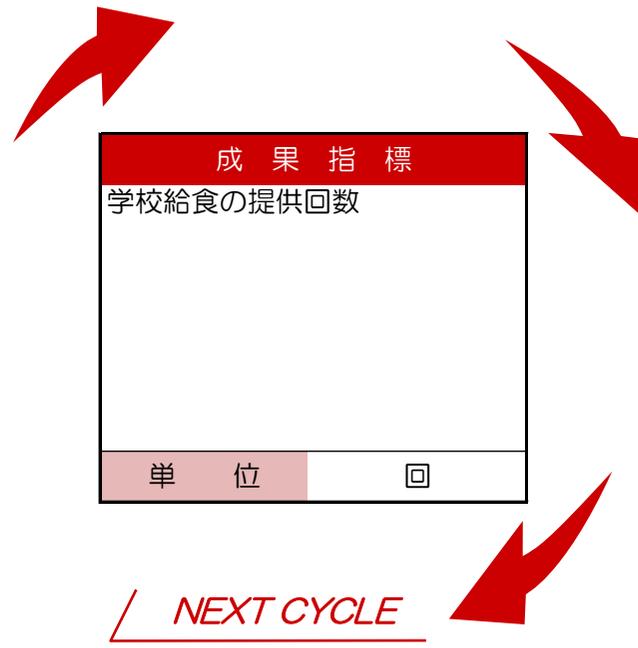
評価	事業の目的を達成するため、保菌検査、放射能検査、常総市産の旬の食材を使用、食に関する指導、アレルギーや宗教上の理由で同じ給食を食べられない児童生徒に提供する「みんなでスマイル給食」を実施した。
分析	コロナ禍での給食提供となったが、新たな「学校給食対応マニュアル」を策定したことで、コロナ禍での学校給食における衛生管理の指標ができたが、継続してマニュアルに沿った対応が実施できるよう、引き続き各学校と連携を図っていく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--

令和2年度	決算額	564,813千円
	うち 特定財源	272,132千円
成果実績		184 回
当初の成果目標		195 回
実施内容と改善点		
新型コロナウイルスの影響で4月5月が臨時休校となり予定回数を実施できなかったが、夏休みが短縮されたことで年間184回の給食を提供できた。また学校再開に合わせて学校給食対応マニュアルを策定し、コロナ禍での衛生管理について各学校に周知実施できた。他にも6月7月分の給食費無償化、県産和牛や海産物を使用した給食を実施した。		

令和元年度	決算額	547,592千円
	うち 特定財源	292,004千円
成果実績		190 回
当初の成果目標		- 回



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回